

1. 文章のしくみを理解する — 文章全体の意味をとらえる練習

1) [対比] ほかのものと比べる

◆重要なことやもの(A)を説明するとき、ほかのことやもの(B)と「比べて」述べることが多い。(これを「対比」という)

(B)と比べると、(A)の特徴が「はっきり」する。

「対比」をつかむと、文章のポイントが見えてくる!

それぞれの「違う点」をしっかりとつかもう。

★例題1 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

近年、インターネットやLANを利用して行う会議、いわゆる電子会議が広まっている。電子会議の長所は会場に参加者が集まらなくてもいいことだが、それだけではない。一般に、普通の会議では、「周囲の目」が気になって、だれか(特に目上の人)が発言している間「うんうん」とうなずいたりして「聞いていますよ」という態度を「周囲」に示し続けることに意識が向かってしまう。しかし、実はその間、思考のほうはストップしてしまいやすい。それに対し、電子会議の場合は、「周囲」を気にする必要がなく、自分の思考を止めずにほかの人の発言が聞ける。その結果、新しいアイデアが浮かぶことが多いのである。

問い この文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 普通の会議より電子会議のほうが、アイデアが出やすい。
- 2 普通の会議より電子会議のほうが、周囲が気になる。
- 3 電子会議は普通の会議と違って、わざわざ会場に行かなくてもよい。
- 4 電子会議は普通の会議より、考える時間が短い。



全体をつかもう

1) キーワードからテーマを推測する

電子会議、普通の会議、「周囲」、思考 → テーマは、電子会議について?

2) 「対比」に注目する

普通の会議 では、

対比

それに対し、

電子会議 の場合は

「周囲」が気になる。

だれか…が発言している間は、…意識が向かってしまう。

しかし、実はその間、思考のほうはストップしてしまいやすい。

「周囲」を気にする必要がなく、自分の思考を止めずにほかの人の発言が聞ける。

その結果、新しいアイデアが浮かぶことが多いのである。

3) 全体をまとめる

普通の会議では「周囲」が気になって、思考がストップしてしまいやすいが、電子会議では自分の思考を止めなくてもいいので、新しいアイデアが出やすくなる。

選択肢と比べよう

1: 正解

2: 周囲が気になるのは、普通の会議のほうである。

3: 「会場に参加者が集まらなくてもいいことだが、それだけではない」と書かれている。

4: 電子会議は考える時間が短いとは書かれていない。

普通の会議 電子会議 ← 「対比」になっている言葉に ○ をつけておこう。

「それに対し」「一方」「反対に」などの対比を示す表現に注目しよう。

「しかし」「だが」「でも」「～が」などの逆接表現にも注目しよう。この後に筆者の言いたいことが書かれていることが多い。

1) [対比] ほかのものと比べる

◆段落がたくさんある長い文章でも、「対比」に注目すると、段落同士の関係がわかりやすくなる。「対比」に注目して、段落の関係を大きくまとめよう。

★例題2 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

もしいま大恋愛の最中だったら、本など読むことをおすすめしない。とくに恋愛小説など、間違っても読んじゃいけない。たとえばバルザックの『谷間のゆり』のような純愛小説の傑作をもつてきても、トルストイの『アンナ・カレーニナ』のような不倫小説の傑作をもつてきても、あなたが現に夢中でうちこんでいる恋愛の生なましい体験に比べたら、色あせてしまうにちがいないからだ。

また恋愛中の相手の恋人に、本の話など仕掛けてはいけない。たとえば遊園地に行って黙って恋人とジェット・コースターに乗って遊ぶことに比べたら、ずっと不毛なお喋りにすぎないからだ。

だがおなじ本を読むことでも、おなじ本の話でもいいからやってみたほうがいい。もしも恋愛が峠をこえたと思えたり、これは失敗だったと思えたりしたときには、

本には恋愛の終わりや失恋の辛さを、もとに戻す力はないが、あなたの恋愛の終わりや失恋をもう一度、あなたが体験したよりもっと巨しく、もっと深く体験させてくれる力があるからだ。

(吉本隆明『読書の方法 なにを、どう読むか』光文社)

【問い】この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 恋愛しているときには、くだらないお喋りをするより、二人で本を読み、その話をするとい
- 2 恋愛小説の傑作を読むと、いろいろ学ぶことができるから、恋愛中の人は、本を読んだほうが
- 3 恋愛をしている人は本を読まないほうがいいが、恋愛が終わりそうと思ったら、より体験を深
- 4 恋愛中の人は本を読む必要はないが、恋愛が終わりそうと思ったら、失恋の苦しさを和らげる



ぜんたい 全体をつかもう

1) キーワードからテーマを推測する

大恋愛、本、読む → テーマは、恋愛と読書？

2) 「対比」に注目する

第1段落：もし…大恋愛の最中だったら、本など読むことをおすすめしない。

↓
話しつづ 話が続ける

第2段落：また 恋愛中の相手の恋人に、本の話など仕掛けてはいけない。

↑ ↓
対比

逆接

第3段落：だが おなじ本を読むことでも、…本の話でも…やってみたほうがいい。

もしも恋愛が峠をこえたと思えたり、…失敗だったと思えたりしたときには。

↑
理由

第4段落：本には…もっと深く体験させてくれる力がある からだ。

3) 全体をまとめる

恋愛をしているときは、本を読んだり、恋人に本の話をしたりしないほうがいい。だが、恋愛が終わりそうときや終わったときは、それをより深く体験できるので、本を読むといい。

せんたくし 選択肢と比べよう

- 1：恋愛をしているときには、本の話をするといとは書かれていない。
- 2：恋愛小説の傑作を読むと、いろいろ学ぶことができるとは書かれていない。
- 3：正解
- 4：失恋の苦しさを和らげるために、本を読むのではない。

・「また」「だが」「しかし」「だから」などの接続表現、「～からだ」などの理由を示す表現は、段落の関係をつかむポイント。このような表現に をつけておこう。

1) [対比] ほかのものと比べる

◆ ^{おお}大きな対比の中に、^{ちい}小さな対比がある文章もある。整理して考えよう。

★ 例題3 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

子供たちはよく「お父さんよりお母さんのほうがこわい」と言いますね。「お母さんは叱る人」というイメージが一般的になっているんじゃないでしょうか。父親が外に出て働いている場合、どうしても母親のほうが子供と接する時間が長くなります。だから、母親に叱る役割がまわってきやすいのです。それに、父親はあまり子供と一緒にいられないので、「子供に嫌われたくない」という気持ちが強くなります。それで、あまり叱ろうとしないのです。いつも叱ってばかりでは、母親は子育てが嫌になってしまいます。

ある専門家は、母親は「包む」役割、つまり優しく子供を受け入れる役目を持つのに対して、父親は「切る」役割、つまり厳しくルールを教える役割を持つべきだと言っています。父親が厳しく叱った後に、母親が子供をフォローしてあげるようにすると、親子の関係はよくなるそうです。子供を叱る必要があるときには、父親がその役割を引き受けてこそ子育てはうまくいくのです。

たしかに今は昔と違って、父親と母親の役割は固定的ではなくなってきました。現在、家庭における男女の役割分担は境界がなくなりつつあります。しかし、子育てに関してはこうした意見に耳を傾けたほうがいいのではないのでしょうか。

問い この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 母親が子供を叱ったら、父親は、優しく接したほうがいい。
- 2 子育てでは、父親も母親も同じように子供を叱る役割を持つべきだ。
- 3 子育てでは父親は子供を叱り、母親はフォローするという役割分担をしたほうがいい。
- 4 父親は、叱るときに、子供の気持ちをよく聞くようにするべきだ。

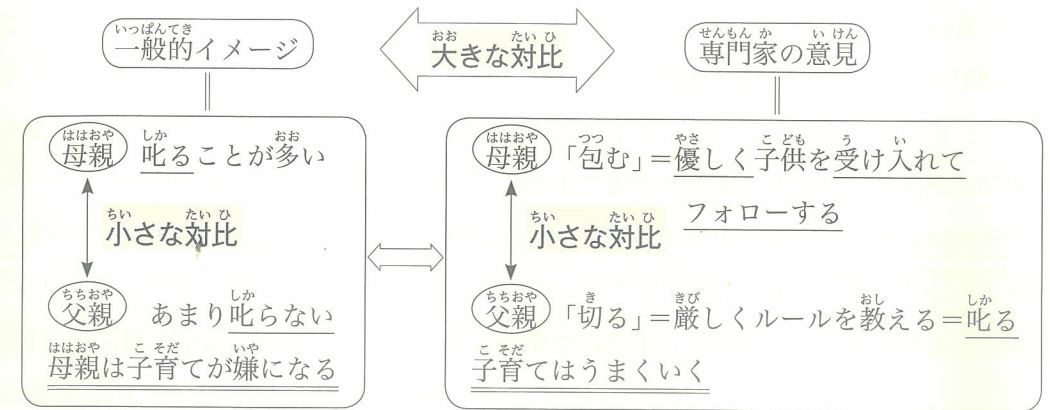


ぜんたい 全体をつかもう

1) キーワードからテーマを推測する

子供、お父さん(父親)、お母さん(母親)、叱る、役割 → テーマは、子育て?

2) 「対比」に注目する



3) 最後の段落に注目する

たしかに ←まず、ある意見を一部認める

「今は昔と違って、父親と母親の役割は固定的ではなくなってきました。」

しかし ←筆者の本当に言いたいこと

「子育てに関してはこうした意見に耳を傾けたほうがいいのではないのでしょうか。」

専門家の意見

4) 全体をまとめる

現状では母親が子供を叱り、父親はあまり叱らないことが多い。しかし、専門家の意見では、父親が叱る役割をしたほうが、子育てはうまくいくという。専門家の意見を聞いたほうがいい。

せんたくし 選択肢と比べよう

- 1 : 父親が叱ったほうがいと書かれている。
- 2 : 子育てに関しては、父親も母親も同じではなく、父親が叱る役割を引き受けたほうがいい。
- 3 : **正解**
- 4 : 子供の気持ちをよく聞くとは書かれていない。

- ・「一般的イメージ ↔ 筆者や専門家の意見」という「大きな対比」にも気づくこと。
- ・「たしかに…。しかし～。」「もちろん…。しかし～」などの表現には注意すること。

練習1 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

この前、教師の人と話していて、子供がTVゲームばかりして、友達同士遊ばないから困っているとぼやいていました。

TVゲームに対するもっとも一般的な批判です。僕はいつも、この批判を聞くと、それは正しいのだけれど、だけど、先生、あなた方だって、カラオケで盛り上がるでしょう、つまり、ゆっくり酒でも飲みはじめたら、誰のどんな批判が飛び出すか分からないから、その空間を避けるでしょう、もちろん、僕もそうですよ、スタッフや役者同士が酔っぱらって何を言いたすか分からない時は、カラオケに走るのがもっとも安全な方法ですから、と心の中で思ってしまうのです。

そして、子供は、そういう大人の生活の知恵を敏感に知っていて、友達の家に遊びに行つて、何を話そうかと緊張する瞬間、ある者はTVゲームのスイッチを入れ、ある者は『スラムダンク』のコミックを手取るのですよ、と思ってしまうのです。

(鴻上尚史『真実の言葉はいつも短い』光文社)

問い この文章の内容として最も適切なものはどれか。

- 1 子供がTVゲームをするのは、まだ子供たちだけでカラオケに行けないからだ。
- 2 子供がTVゲームをするのは緊張を避けるためで、大人がカラオケに行くのと同じだ。
- 3 子供がTVゲームをすることを批判するなら、大人もカラオケに行くべきではない。
- 4 子供がTVゲームをするのは、カラオケほど他人から批判されず、安全だからだ。

練習2 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

現在、学校の部活動や地域の少年スポーツチーム、クラブには、参加の意志さえあれば誰でも参加できるようになっています。それでいて、万が一事故が起こった場合は、現場にいる指導者や、施設管理者だけに責任があるかのように思われています。一般に、一つの部やクラブ、チームの部員数が30~40人くらいになることは、それほど珍しいことではありません。しかし、それだけの大人数の安全や健康状態を完璧に観察し、適切な判断をたったひとり、もしくは数人の指導者でおこなうことは不可能に近いことです。

(佐保豊『日本のスポーツはあぶない』小学館)

(注1) 完璧に：欠点が全くなく、完全に

問い この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 指導者は、指導中の事故にもっと責任を持つ必要がある。
- 2 部員は、指導者に自分の健康状態を報告する義務がある。
- 3 自分の意志で参加しているので、事故の責任は部員本人にある。
- 4 少人数の指導者や管理者で数十人の部員の安全を守ることはできない。

練習3 問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

人の嫌がる仕事を進んで引き受けたり、お年寄りやハンディキャップをもつ人を的確にお世話するボランティアの姿を見ていると、「すごい。自分にはできない」と感じてしまう人は多いかもしれません。

でも、こうした行動や態度は活動をしていくなかで徐々に身についていくものです。ボランティアをしているのは特別、正義感が強いやさしい人ばかりというわけではありません。

ボランティアを始めた動機に「おもしろそうだから、興味があったから」と、好奇心や探求心をあげる人はたくさんいます。責任をもって活動できるなら、きっかけは何でもいいのです。むしろ、「よいことをする！」という気負いがなく、自然体でボランティアに関われる人も多いのです。

(大勝文仁、山田由佳『自分スタイルのボランティアを見つける本』山と溪谷社)

[対比]

【問い】この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 特別な人でなくても、責任感さえあれば、誰でもボランティア活動はできる。
- 2 お年寄りやハンディキャップをもつ人を的確に世話できる人は、ボランティア活動に向いている。
- 3 正義感や責任感はなくても、もっと気軽にボランティア活動に参加してほしい。
- 4 「よいことをする！」という気持ちが強くなければ、ボランティアはできない。

【練習4】問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

近代以前の社会では、職業はおのずと定められていることが多く、選択の幅はきわめて小さかった。さらに、生まれて死ぬまで同じコミュニティ(注1)のなかで暮らす人が多かった。

それに対して近代社会では、人びとは自由に職業を選択できる。また国内ならば自由に移動することもできるし、自由に起業したり、趣味やボランティアのサークルをつくって活動することもできる。

つまり、近代社会では一人ひとりの「自由」という理念が大切にされ、さまざまな自由な活動が保証されている。そしてそれに対応して、社会の側も、不特定多数の人びとやモノや情報がさまざまに行き交う(注2)空間となっているのである。

(荻谷剛彦、西研『考えあう技術——教育と社会を哲学する』筑摩書房)

(注1)コミュニティ：地域社会

(注2)行き交う：行ったり来たりする

【問い】この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 近代以前、人はずっと移動せずに暮らしてきたが、近代以降は移動の自由を得た。
- 2 近代社会では個人の自由が重視され、職業選択や移動等の活動も自由になった。
- 3 近代以前は自由がなかったため、近代社会の人びとはそれを非常に大切に考えている。
- 4 近代社会になって自由が保証されたが、人も情報も多すぎて社会が不安定になった。

[対比]

【練習5】問いに対する答えとして最もよいものを一つ選びなさい。

知名度の高い執筆者ばかり適当に揃えて一冊の雑誌をつくる編集は、たとえば、インスタント食品(注1)をうまく使って食卓を賑わす料理人みたいなものだ。失敗の危険は少ないかもしれないが、創る喜びは少ない。

そこへゆくと、まだ固いつぼみ(注2)を見つけ出して、これにあたたかい春の風を送り、花に育てる編集の仕事はそれ自体がひとつの芸術である。そういうことの可能なエディターはそれほど多くいるとは考えられないが、すぐれた才能の開花のかけにはきわめてしばしばこういう創造的編集が存在するのではあるまいか。

(外山滋比古『新エディターシップ』みすず書房)

(注1)インスタント食品：ほとんど手間をかけずに簡単に食べられる食品

(注2)つぼみ：花がまだ咲かないで閉じている状態

【問い】この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 まだ有名でない執筆者の才能が開花のかけには、優秀な編集者がいる。
- 2 雑誌をつくるということは、花を育てるように創造的で芸術的な仕事である。
- 3 簡単につくられた雑誌より、時間をかけて編集された雑誌のほうが内容が良い。
- 4 優秀な才能を持つ編集者がいれば、より良い雑誌が作られるようになる。